



カラフル

著 森絵都
講談社

普通に生きていると見えないこと

試練を乗り越える男の子

生きる喜び

紹介文

死んだはずの僕は人生に再挑戦するチャンスを得ます。僕の魂はガイドの天使に連れられて、天上界から下界に降り、自殺をはかった中学生の真の体にホームステイすることになりました。いろいろな出来事を通して真が、世界って意外にカラフルなものだと気づく物語です。「カラフル」とは、人や周囲の悪いところばかり見ていると一色にしか見えないけれど、良いところも見ようとすると、その中にいろいろな色が見えてくることだと、私は思いました。

倉敷市立味野中学校3年

話の展開がとてもおもしろくて、最後の最後で「あー、なるほど」とうなずける物語です。またこの本の主人公は、自分たちと同じ10代なので共感できるところもたくさんあります。今読んでおくべき1冊です。

県立岡山大安寺中等教育学校2年

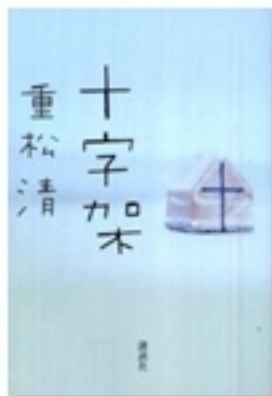
『カラフル』は、実写版・アニメ版と2回も映画化されている人気小説です。

作成委員

～ “死” から……～



『クマのあたりまえ』
著 魚住直子
ホブラ社



『十字架』
著 重松清
講談社



『特別授業 “死” について話そう』
著 伊沢正名ほか
河出書房新社発行

『クマのあたりまえ』は読みやすい短編集です。『十字架』は、自殺した友達の遺書に「親友」と書かれた少年が、心に十字架を背負いながら自分を見つめていく物語です。『特別授業 “死” について話そう』は、「死」について様々な角度から語った本です。



ぼくが宇宙人をさがす理由

著 鳴沢真也
旬報社

夢をあきらめない

夢、努力、挫折、成功

ノンフィクション

紹介文

今、夢に向かってがんばっている人、また夢を探している人は、ぜひ読んでみてください。著者の鳴沢さんは、挫折しながらもがんばり続けて、夢をかなえることができました。きっとこの本を読んだ全ての人に、勇気と希望を与えてくれると思います。宇宙に興味のない人でも、楽しんで読める本です。もしかしたら、宇宙にはまってしまったりかもしれませんよ。

倉敷市立味野中学校 1年

この本は「地球外知的生命」を探す人が書いた本です。いろいろなさし絵があり、難しい言葉や文章には細かい説明があるので、読みやすく、理解しやすいです。表紙はいかにも「地球外知的生命」とわかるおもしろい絵で、ぼくはこの絵に惹かれて読んでみました。

岡山市立西大寺中学校 3年

～先輩のタメになる話～



『14歳』
著 千原ジュニア
講談社



『自分の木の下で』
著 大江健三郎
画 大江ゆかり
朝日新聞出版



『みんなの論語塾』
著 安岡定子
講談社

『14歳』は、千原ジュニアの自伝的小説です。中学時代に自室に引きこもった著者の、胸を焦がすような持って行き場のない思いが、ひしひしと伝わってきます。ノーベル賞受賞作家が、生きていくうえで大切なことを、自分の体験から語りかけているのが『「自分の木」の下で』です。『みんなの論語塾』は、2500年前に中国の孔子が説いた、人にとって何が大切かということ、中学生にも分かりやすく解説した本です。どの本も、読むと何気なくすごしている日常を、見つめ直したくなります！



鉄のしぶきがはねる

著 まはら三桃
講談社

青春物語

ものづくりの魅力

集中力

紹介文

三郷(みさと)心(しん)は男ばかりの工業高校で唯一の女子生徒です。心(しん)は助っ人として「もの研(ものづくり研究部)」に入ったものの、最初はあまり乗り気ではありませんでした。しかし次第に、鉄にひかれるとともに先輩にもひかれていきます。困難なことがたくさんふりかかってくる中で、「もの研」と恋、心(しん)はどうなるのでしょうか。とてもおもしろくて読みやすいので、ぜひ読んでみてください。

岡山市立西大寺中学校 1年

全国の工業高校生が競う「ものづくり甲子園」を目指す女子高生の青春物語です。主人公は男子ばかりの中でも浮くことなく、地味だけれど凛(りん)としてカッコいい！

作成委員

～友達と、自分と～



『トマト・ケチャップ・ス』
著 東直子
講談社



『夜はライオン』
著 長園安浩
偕成社



『10代のためのケータイ心得』
監修 ころ部
まんが スメリー、服部元信
ポプラ社

美人の同級生二人に誘われて漫オトリオを組むのが『トマト・ケチャップ・ス』です。学校では明るく振舞ってはいるものの、それぞれ悩みを抱えている三人。漫才で楽しく笑い飛ばしていけるのでしょうか。『夜はライオン』は、野球チームのエースで成績優秀、自分は完璧で「選ばれたもの」だと思ふマサ。しかし彼には、友達には絶対に知られてはいけない秘密がありました。それを克服しようと涙ぐましい努力をします。『10代のためのケータイ心得』は、友達との交流に楽しい携帯電話ですが、そこにはたくさんの危険が潜んでいることを、マンガを交えてわかりやすく説明しています。もちろんスマートフォンの人にもおすすめです。



RDGL レッドデータガール はじめてのお使い

著 荻原規子
角川書店

「ふつう」であること

神々の世界

和のファンタジー

紹介文

この物語は「姫神」と呼ばれる力の強い神霊の器になった少女、鈴原泉水子のお話です。彼女は普通の女の子になりたいくて、ずっと伸ばしていた髪を切りました。しかしそれ以来、今まで見ていなかった邪悪な霊を見ることになってしまいます。普通の女の子になりたいただけなのに、姫神のせいでいろいろな者につけ狙われるようになった泉水子が、自分らしさをだんだんと見つけ、がんばっていく姿にとても感動します。

倉敷市立南中学校 2年

ファンタジーでもあり、生きる意味を語りかけてくれる物語でもあります。主人公はいつも「普通になりたい」と思っています。私たちは、日々何か普通でないものを求めているので、不思議な感じがしました。物語の途中で「レッドデータガール」の意味が分かりますが、この書名にもひかれます。主人公が悩み、成長し、未来に向かっていく姿が、とても心に残りました。

県立岡山大安寺中等教育学校 1年

～不思議な世界で～



『影との戦い ゲド戦記 I』
作 ルーグウィン
訳 清水真砂子
岩波書店



『クラバート』
著 オトフリート・プロイスラー
絵 ヘルベルト＝ホルツィング
訳 中村浩三
偕成社



『鬼の橋』
著 伊藤遊
画 太田大八
福音館書店

『影との戦い』は、自分の才能にうぬぼれるあまりに、大きな失敗を犯したゲドが、死の国から来た影に追われていく物語です。『クラバート』は、ドイツの伝説をもとにした魔法使いの弟子の物語です。平安時代の少年が、この世とあの世のはざまの世界に迷い込むのが『鬼の橋』です。いずれも主人公が、異世界で困難に立ち向かいながら自分を見つめ直す話です。



妖怪アパートの幽雅な日常 1

著 香月日輪
講談社

心が豊かになる
考え方を教えてくれる
人情

紹介文

共同浴場は地下洞窟にこんこんと湧く温泉。とてつもなくおいしいご飯を作ってくれる「手首だけ」のまかないさん……。13歳で両親を失ったタ土が高校進学とともに入居したのは、通称「妖怪アパート」！ 次々と目の当たりにする非日常の中で、タ土はたくましく成長していきます。「普通」とは何か、何が正しいのかを考えさせられる1冊です。誰もが入居したくなる妖怪アパートをのぞいてみませんか。

倉敷市立船穂中学校2年

人間と妖怪たちの奇妙な物語で、読んでいてわくわくします。次はどんな妖怪が出るのか、次はどんなオモシロイ話（日常）が読めるのか、わくわくにプラスしてドキドキします。全然怖くないので、怖い話が苦手な人でも大丈夫です。逆におもしろ過ぎて笑えるかもしれません。妖怪なんて架空の世界の話なのだけれど、この物語は実際にありそうなお話です。おもしろい話が好きの人には必読です。

倉敷市立連島南中学校3年

～すてきな仲間がいるから～



『生きるぼくら』
著 原田マハ
徳間書店



『夏から夏へ』
著 佐藤多佳子
集英社



『少女は卒業しない』
著 朝井リョウ
集英社

都会で引きこもっていた青年が、信州の祖母のもとで米作りをするのが『生きるぼくら』です。一緒に作る仲間もできて、自然の中で自分と向き合います。『夏から夏へ』は日本陸上男子リレーのノンフィクション。『少女は卒業しない』は、卒業式の日のある7人の少女の7つの物語です。



星の王子さま 新訳

作 アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ

訳 倉橋由美子

宝島社

本当に大切なこと

自分を見つめなおす

生きる意味

紹介文

砂漠に飛行機で不時着した僕が出会ったのは、小さなかわいらしい男の子でした。それは、小さな自分の星からやってきた王子さまでした。王子さまはいくつもの星をめぐるっていて、七番目に地球にたどりつきました。ふしぎな出会いをしたぼくと王子さまは、どんどん仲よくなっていきます。王子さまが今までめぐってきた星の話がとてもおもしろくておすすめです。一度読んだら宝物にしたいくなるような話です。

倉敷市立玉島北中学校 3年

「大切なことは目に見えない。」王子さまと過ごすうちに、主人公は自分が忘れてしまった大切なことに気づいていきます。この本は、普段私たちが忘れてしまっている大切なことを思い出させてくれます。

真庭市立落合中学校 1年

著者のサン＝テグジュペリは、1900年、フランス生まれの飛行士です。この『星の王子さま』は、1943年にアメリカで初めて出版され、日本では1953年（昭和28年）に内藤濯さんの翻訳で岩波書店から出版されました。さし絵も著者自身が描いていて、物語も絵も、長く世界のたくさんの国で愛されています。

作成委員

～すごい者と出会って～



『ギヴァー 記憶を注ぐ者』
著 ロイス・ローリー
訳 島津やよい
新評論



『びんの悪魔』
作 ロバート・ルイス・スティーブンソン
訳 よしたみどり
福音館書店



『ミムス 宮廷道化師』
作 リリ・タール
訳 木本栄
小峰書店

『ギヴァー 記憶を注ぐ者』は人々の記憶を受け継ぐ職業の老人と、『びんの悪魔』は何でも願いをかなえてくれる悪魔と、『ミムス』は宮廷道化師と出会い関わることで、自分が大きく変わっていく物語です。



「また、必ず会おう」と誰もが言った。
偶然出会った、たくさんの必然

著 喜多川泰
サンマーク出版

旅での出会い
人生観について
小さなウソから

紹介文

1人の若者が、旅を通して人々と出会い、その人たちの日常にふれながら自分の人生を見直していきます。予想通りいかないことの連続の中で、主人公が成長していく話です。読んでいたら、涙が出てくる作品です。小さなうそから始まったできごとが、大きなことになっていく。出会いがあって別れがあり、笑い、感動があります。理由もなく人にやさしく接し、助けてくれる人たちがいっぱい。ぜひ読んでみてください。

倉敷市立南中学校 3年

著者の喜多川泰さんの本業は、学習塾の先生です。生徒に語った話を本にまとめていて、これもその中の1冊です。文章がやさしくて読みやすいので、気軽に手に取ってみたいはいかがでしょうか。

作成委員

～新しい自分へ～



『リテイク・シックスティーン』
著 豊島ミホ
幻冬舎



『スピリットベアにふれた島』
作 ベン・マイケルセン
訳 原田勝
鈴木出版



『さようなら、ドラえもん
子どものためのテツガク教室』
著 中島義道
画 若泉さな絵
講談社

高校に入学してすぐに、仲よくなった友達から「私は未来から、人生をやり直しに来たの」と打ち明けられたら……。『リテイク・シックスティーン』は、そんな友達と関わるうちに、弱気だった自分も変わっていく高校生の話です。『スピリットベアにふれた島』は、心の内にため込んだ怒りをおさえられず犯罪をおかした少年が、アラスカ沖の無人島でたった1人で自分と向き合う話です。「ウソをついてはいけない」「親切にしないといけない」など、普段何気なく聞き流していたことを自分で改めて真剣に考えてみると、新しい自分が見えてきます。『さようなら、ドラえもん 子どものためのテツガク教室』はそれを助けてくれる本です。



クロードティアの秘密

作 E. L. カニグズバーグ

訳 松永ふみ子

岩波書店

冒険

美術館

家出

紹介文

クロードティアは、いやな日常から脱出して違う自分になるために家出を計画します。おこづかいを一番貯めている弟を誘って、向かった先は、ニューヨークのメトロポリタン美術館！巨大な美術館の中での暮らしがとてもおもしろそうで、みんなもきっとこんなところで生活してみたくなるはず。夜は展示品のベッドで寝たりと、警備の目を盗みながら生活するところに、わくわくはらはらします。さらに2人は、美術品にまつわる大きな謎も探っていく……。この旅でクロードティアはどう変わったのでしょうか。

朝日塾中等教育学校 1年

この本がアメリカで出版された1967年頃には、まねをしてこっそり美術館で暮らしてみようとした人もいたとか。クロードティアの発想は、おしゃれで都会的ですね。

作成委員

～旅に出よう～



『ペーターという名のオオカミ』
作 那須田淳
小峰書店



『風をつむぐ少年』
著 ポール・フライシュマン
訳 片岡しのぶ
あすなる書房



『トラベリング・パンツ』
作 アン・フラッシュェアース
訳 大島双恵
理論社

『ペーターという名のオオカミ』は、ドイツに住む少年が、群れから離れた子オオカミを合流させる旅に出る話です。いろんな人との出会いで、さまざまなことを知っていきます。罪を負ってしまった少年が、その償いのためにアメリカ大陸の四隅に風の人形を立てる旅に出るのが、『風をつむぐ少年』です。やりとげていく中で、過去の自分を見つめ、未来に向かって再生していきます。『トラベリング・パンツ』は、人ではなくジーンズが旅をします。4人の少女の友情に、このジーンズはどんな役割を果たすのでしょうか？